

令和元年度 Extra 2 応用動物科学セミナー

動物モデルを用いた感染症研究

- 13:00 – 13:10 **開会の挨拶**
浦野 徹 (公益社団法人 日本実験動物学会 理事長)
- 13:10 – 13:50 **感染防御におけるToll様受容体の役割**
三宅 健介 (東京大学医科学研究所)
- 13:50 – 14:30 **寄生虫感染モデル - マラリア温故知新**
嘉糠 洋陸 (東京慈恵会医科大学)
- 14:30 – 14:40 休憩
- 14:40 – 15:10 **ピロリ菌以外のヘリコバクター属菌 - これまでの知見**
山中 仁木 (信州大学基盤研究センター)
- 15:10 – 15:40 **結核菌感染におけるIL-17サイトカインファミリーの防御機構とその応用**
梅村 正幸 (琉球大学熱帯生物圏研究センター)
- 15:40 – 15:50 休憩
- 15:50 – 16:20 **ジカウイルスの蚊－哺乳類間伝播モデルの確立とその応用研究**
浦木 隆太 (名古屋市立大学医学部)
- 16:20 – 16:50 **A型肝炎ウイルスマウスモデル - ウイルス発見から40年後のブレイクスルー**
結城 明香 (国立感染症研究所)

● 10月11日(金) 13:00 ~ 17:00
フードサイエンス棟中島董一郎記念ホール

● 本講演は獣医学専攻博士課程「令和元年度 第2回 生体防御学特論」(日本実験動物学会「第8回実験動物科学シンポジウム」との共催)として行われるものですが、担当教員の厚意により本専攻の学生にも公開するものです。「動物科学のフロンティア」の講義としてはカウントしませんので、レポートの提出は必要ありません。

● 問い合わせ 先: 獣医学専攻実験動物学教室 角田 茂 准教授

☎ 03-5841-5037

✉ akakuta@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp